

コヤマカンパニーI・S・O委員会の提案で会社全体で取り組むことになったエコキヤップ運動については、本紙11月号(NO58)で報じましたが、早くも一定の成果を挙げています。さる11月18日に2240個(5・6kg)のペットボトルのキヤップをNPO法人エコキヤップ推進協議会に送りました。これによって累計個数は3920個となりました。4・9人分のポリオワクチンが購入できます。また、累計のキヤップをゴミとして焼却すれば31kgのCO₂が発生します。

エコキヤップ推進協議会では、1kgのキヤップを400個として計算しています。800個でポリオワクチン1人分が購入できます。また、1kg(400個)のキヤップが焼却されると3・15kgのCO₂が発生します。同協会は平成19年8月から21年4月までの期間に、3億4015万6080個のキヤップを「NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会」へ寄付しました。金額にして850万3902円、42万5195人分のポリオワクチンが購入できました。

世界の発展途上国には、ワクチンさえあれば命が助かる子どもたちが世界で1日に約600人にも達しているそうです。コヤマカンパニーI・S・O委員会では本紙読者の方もエコキヤップ運動に参加されるよう呼びかけています。

日本の気候風土では、稻作が適し、各土地には伝統的な発酵食品が数多くあります。その二つが相合わざった日本の食事の基本は、二千年以上にわたって続いてきました。二千年以上も磨き、築き上げられた食生活は、おじいちゃんおばあちゃんの世代、ほんの六十年前までは身近に続いていたのです。それが太平洋戦争が終わるとUSAの占領軍と一緒に、パン食を中心とした洋食文化が津波のようにならしてきました。これで日本の食事は大きく変化しました。パンに合わせた食生活はおかげも昔とは違います。

パンと肉、油を中心とする食生活はカロリーが高く、戦後日本人は肥満の一途をたどり、肥満、糖尿病、ガンなどに直結します。成人病は、小学生にまで及び、生活習慣病

食事の基本は米と発酵純米酒飲んで減反解消

世界に冠たる日本酒

その五十四●田んぼ復権の鍵

「いい酒、いい人、いい肴」。居酒屋三原則としてこればかり言い続けてきたが、この頃は年齢のせいか、その居酒屋の「空氣」が、もつとも貴いものと思うようになってきた。

空気は目に見えないが存在する。大自然の空気に深呼吸する。ここやかに話すうちによい空気が漂ってきた。反対に、空気が悪い、ここにはいやな空気があ

る。空気は目に見えないが存在する。大自然の空気に深呼吸する。ここやかに話すうちによい空気が漂ってきた。反対に、空気が悪い、ここにはいやな空気がある。そして通うようになり、しばらくいかないと顔を出したと感じる。そういう居酒屋はある。そして通うようになり、しばらくいかないと顔を出したと感じる。そういう居酒屋は肝心なのは、そこはひとりで

老舗居酒屋の空気

グラフィックデザイナー 太田和彦

「いい酒、いい人、いい肴」。居酒屋三原則としてこればかり

がブームとなっています。今ではすっかり定着し、肥満と生活習慣病が低減しています。

日本でも少しずつ米食、出汁文化に戻していくことで、皮肉なことに日本の食事は海外で先に見直されてしましました。

そこで熱意のあるセールスマンならば、さまざまな工夫をするだろう。パンフレットに書かれていよい車の細かな機能をも勉強する。自社の車だけではなく、競合他社の車の

力に大した差はない。まして上で、最初に必要な「第1ボタン」とは何だろう。最初から飛び抜けている。それはまさに人間もないし、最初から出か。それはまさに人間ではないか。遅れている者もいない。

熱意ではないか。ほんの一握りの人間の中には、天才的な才能を持つた人もいるかも知れないが、99パーセントの人間には能

仕事をしていく力に大した差はない。まして上で、最初に必要な「第1ボタン」とは何だろう。最初から飛び抜けている。それはまさに人間ではないか。遅れている者もいない。

熱意ではないか。ほんの一握りの人間の中には、天才的な才能を持つた人もいるかも知れないが、99パーセントの人間には能